

時軍新報

官海何ぞ不活潑なる

官海何ぞ不活潑なる
官海の一類が政府内部に盤居して世間を知らず自から
官海に構へて政治社會を意の如くならしめんと欲する
も無運なる所望にして到底實際に行はる可きものと非
ずとは毎度我輩の痛論する所亦れども今日に至るまで
實は其邊に心付く者少きを遺憾され殊に官吏の中
にても上流の貴族と稱する輩に至りては盤居も亦甚だ
しく其往來交際する所のものは同僚にあらざれば先づ
同僚の人のみにして會て廣く世間に交り求るの道を
知らず平生の慣行都て此風あるが故に遇事要用の爲め
に人に面會し人の家を訪はんとするも亦あるも世間の
耳目に觸るゝを恐れて種々様々に外面を装ひ忍びく
に相違ふ其有様は何か人に語ること少き私事にては
起すの状に異ならず其相違ふの事情斯くも秘密あるが
故に世間にては特之に注目して苟も少しく名ある人
物相互に訪問し互に相違ふと云へば恰も社會の一事体
のやうに心得て色々の觀を附會し傳へ又傳へて遂に大
間違を生ずるも亦なきに非ず當人の身の爲めには不
自由にして得世の爲めには流言の種を時々のと云ふ
可し蓋し昔年專制の政府に法律の明からざる時代には
往々嫌疑を以て罪に陥りたる者も少からず士人の一
舉一動試みて身を凝したるの實例さへありしが故に苟
も自から明にせんとする者は交際の方角を慎み兎に角
に危きを避るゝと專一かりしかども文明の進歩と共に
是等の用心は無用の沙汰に屬して法律に反せざる限り
は誰れが誰れに逢ふも之を咎る者とはある可らず然
るに今の世上の貴族が小乾坤の内に籠城して世間の
交際を恐るゝと私事秘密の罪を恐るゝが如くするは
專制時代の殘業に服して文明の自由を解せざる者と云
ふ可し我輩が政府の人に向て身を凝くせよと警告する
も即ち此邊の意味なり

宮廷録事

○國務公使解任狀奉呈案內 昨十九日午前十一時三十
分國務公使全權公使フノン ハムレーン氏は今般
他へ轉任に付天皇陛下へ解任狀奉呈のため參内同時皇
后陛下へ拜謁仰付られ奉て午時彰仁親王同妃兩殿下を
御陪食に召させられ該公使并に榎本外務大臣、土方宮
内大臣、德大寺侍從長、岩倉侍從總幹事、花房宮内次官、
鍋橋式部長、香川皇后宮大夫、三宮式部次長、典侍高倉
壽子、掌侍小島良子、權侍北嶋以登子、御用掛山川
操、同香川志保子等へ御陪食仰付られたり
○帶下賜 去る十七日石川縣金澤に於て故石川縣知
事岩山敬義氏の葬儀執行に付勅使として同縣書記官森
岡真氏を岩山氏の邸へ差遣はされ幣帛を下賜られたり
○昨日の内閣 榎本、田中、品川の三大臣は昨十九日午
前十一時前より内閣へ參集し榎本氏は宮中に伺候して
獨逸公使ホルレーン氏と共に御陪食を仰付られ終り
て御前を退き大臣官房に於て議談の上子爵は午後三時
半頃他の二大臣は四時半頃退出したり此の日渡邊會計
局長も登壇せり
○樞密院會議 副議長樞密院副議長初め大山、佐野、福岡
、河野、尾崎の各閣員は昨十九日午前十一時頃より
同院に參集して會議を開き午後四時前後に至りて一同
退散したり
○貴族院の停會に就て 貴族院の解散さるゝや貴
族院は停會せられしが今此の停會に對し二様の説を言
すものありて甲は斯く衆議院の解散より起りし停會は
宜しく解散の實を挙げ第二期に於て選舉したる各閣の
委員は再び開會したる其際にて悉く新に選舉せざる
べからずと論じ乙は之に反對し停會と云へば何れの場
合に於ける停會も同様にして衆議院の解散に伴へる
停會以前會の議事を繼續せざる一特例あるのみ左れば
委員の改選は行に及ぶる事云々と説き居る由あり共
乙説の如くすれば衆議院は解散の爲めに議員を再選し
前會に續き新規に成立せしめて舊に議事の繼續せざる
のみならず議長副議長と初め各閣の常任委員を新に
選舉するに拘らず議長副議長の方のみは議事を繼續せ
ざる丈に止め下院解散前の委員をして繼續らす上は

雜報

せしむべしと云ふ時は貴族院議會は恰も片輪の運動あ
すものと評せざるを得ず且つ貴族院の停會は議院法第
六章中に掲げたる如く衆議院の解散に伴へる場合のみ
に限らずと雖も尙も同法第三十四條に於て右の場合
に生じたる停會後の開會以前會の議事を繼續せざる事
の特例を明に掲げたる以上は貴族院の方に於ても下院
解散の趣旨に基き各閣委員の改選を行はざるべからず
實に斯く多してを初めて衆議院解散の効ありと云
ふべけれ云々と議會の典例に詳しき某氏は物語りし由
を射し一時を驚すは百卒を斬り勝れりとして政府も民間
も其反對の勢力を遠くには先づ黨内録々の人物をし
て今回の選舉に當選せしめざるに在り左すれば自由黨
も改選黨も若しくは御味方黨も自然に勢力を退ふる
能はざるべしとて互に政黨の重立たる候補者を幾さん
とするは今日の有様あるに就ては自由黨の河野廣中、
星亨、大井澤太郎改進黨の嶋田三郎、大養毅、尾崎行雄
又は彼の井上角五郎、末松謙澄の諸氏に對して競争者
も幾からずと申す其次第は白井達平氏の如きは金力
と熱心とを以て是非河野氏を幾さんと謀り之が爲り流
石の河野氏も多少色色動かし始めしかば板垣伯は應援の
爲り福嶋に出張せんとする程の勢ひとなり河野氏も決
して安心出來ざるべし星亨氏には同じ民黨ながら板垣
三子氏と云ふ強敵あり氏は縣會議員一同より擁護され
たる程なれば星氏に取ては由々競争者あるべし大
井澤太郎氏は菊地健二氏の擁護を蒙り受けたるものか
れ共此區には高井孝三氏なる有力家あり菊地氏が勝利
を得たる時も高井氏とは其得票僅々の差ありしのみか
れば大井氏の勝算は甚だ不充分なるを免かれず嶋田氏
に至つては今日まで別に競争者も出でざれば先づ間違
なかるべきも横濱實業商の意向次第にて如何なる模様
とあるも知るべからず大養毅氏も選挙區には中々勢力あ
る由あれば萬一の事あるべきも一方に於ても其筋の
有力者等つて當選を妨げんと盡力おさへしと云々
へは安閑として居られずと聞く尾崎氏の選挙區は同
氏の外に三四名の候補者あるを以て到底非常なる競争
は避けられざるべし借て又井上氏にも助敵あり末松氏に
も亦侮るべからざる競争者ありと聞けるが總じて右等
の人々は今回の選挙に中々の苦戦あるべく隨つて其結
果の如何も容易に知るべからずと云ふ

新任命令

○新任命令
○今日の日東京市會
○昨日の東京市會
○昨日の東京市會

○今日の日東京市會
○昨日の東京市會
○昨日の東京市會

○今日の日東京市會
○昨日の東京市會
○昨日の東京市會